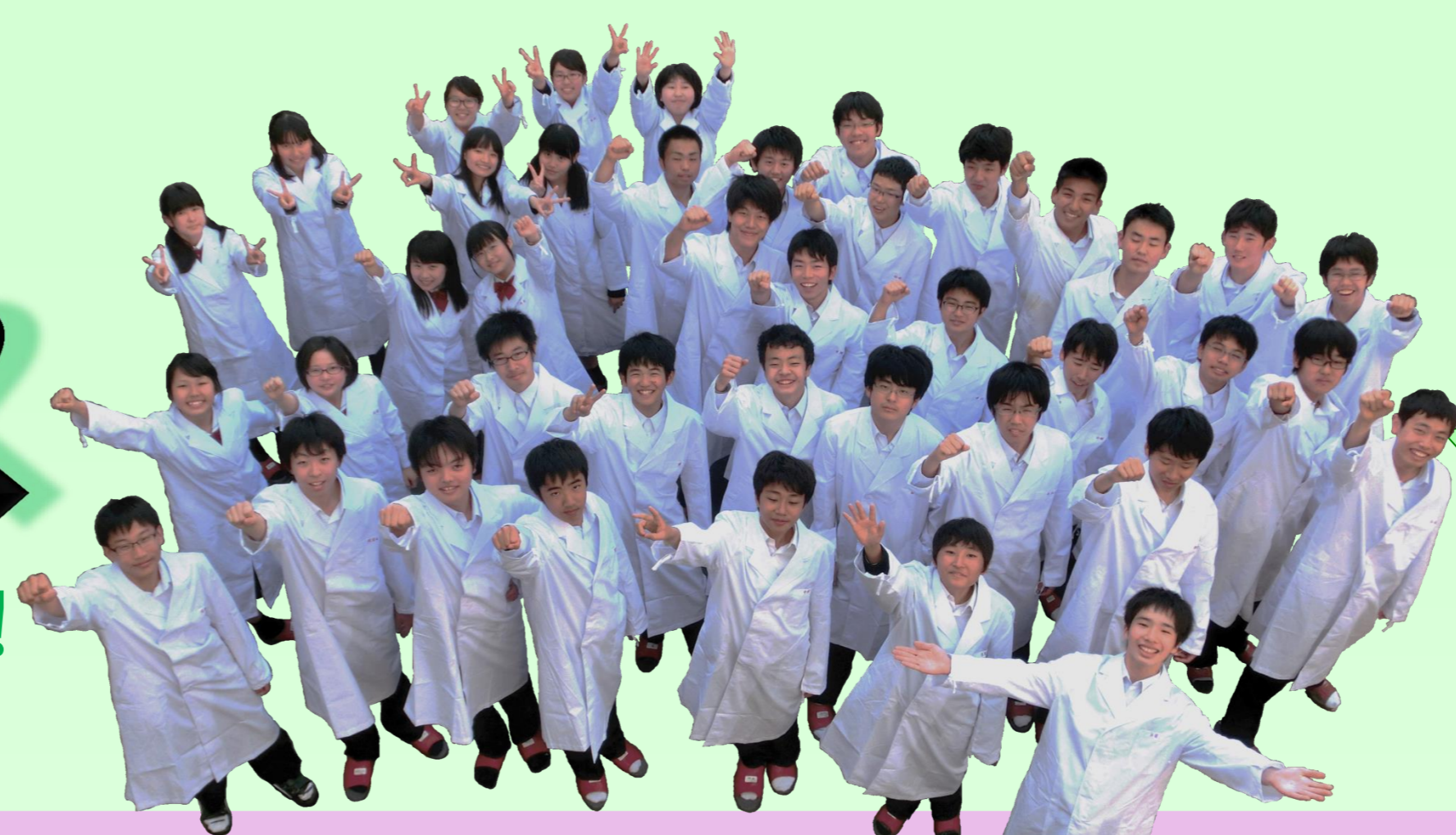


9月号は  
表面  
だけです。



## 1年生, 創生研究中間発表

音波を用いた空気冷却  
～最も冷却できる周波数の測定～



温度変化による  
電気抵抗のモデル化



トランジット法を用いた  
食連星の測光



9月17日(木),本年度から実施されている創生研究(1年生前期)において,課題研究の中間発表会が行われました。

この発表会は,後期から行われる発展研究へ向け,研究テーマの継続の可否を‘審査’する場でもあり,岡山大学大学院教育学研究科自然教育学系物理 稲田佳彦先生を招き,生徒相互の評価も含め,厳しい審査が行われました。

また,翌週の24日(木)には,発表内容を審議する審査会が行われ,幸いにも,全研究グループの継続が承認されました。反面,研究開始から半年足らずでもあり,どの研究グループにも進捗状況に不十分な面が見られ,中には研究の方向性やテーマそのものの修正を求められるグループもありました。今後の発展研究に向上を期待します。

濃淡電池の応用



酵母菌が  
周囲に与える影響



乳酸菌と植物との共生



プラナリアの分裂抑制機構  
における粘液の役割



耐熱性、耐火性に優れた  
義手製作



標的型メール  
水際対策ソフトウェアの開発



発表終了後の稲田先生から講評

## 3年生, PaReSK 公開授業 英語で物理授業



9月16日(水)④限(11:25~12:10 第1物理教室),科学英語読解メソッドPaReSK(パレスク:“Paragraph Reading for Science with Key Words”)による公開授業が行われた。内容は,理数科3年次生を対象とした理数物理(指導教諭 仲達修一担当)の「Lorenz力」の演習である。PaReSKは,国際的に活躍できる科学者として必要な能力の一つに英語の論文を読んだり,科学に関する幅広い知識を英語の資料から得たりすることを専門用語などのキーワードに着目してパラグラフごとの大意を読み取っていくプログラムである。授業では,講師のラモン ファーガス(Ramon Fargas),GSO(グローバルサイエンス OKAYAMA)非常勤講師の白神陽一郎,ロベルト オベリオ(Roberto Flores Oberio Jr.),ナシマ ベグム(Nasima Begum)をティーチングアシスタントに,終始,英語による学習活動,発表活動が展開された。